

令和6年度取り組み状況、今後の課題について

取組状況

団体名	生活習慣病	食事・栄養・体重	運動	飲酒	喫煙	休養・こころの健康	歯・口腔の健康
日向市・東臼杵郡医師会	・市との契約に基づく特定健診・特定保健指導の実施を実施。 ・医療機関によっては病院保健師が保健指導を熱心に行う事で健診率の向上に努めている。 ・生活習慣病有病者への早期受診の勧奨、自己管理の徹底を促した。 ・小学4年生、中学1年生を対象とした小児生活習慣病健診の実施 ・健康相談に細かく応じることができた。 ・まちの保健室の開催（1回/月、県看護協会日向東臼杵地区） ・市と連携し新型コロナ、インフルエンザなどの感染症に対する正しい理解と感染防止策のための周知啓発を行った。 ・職場における生活習慣病出前講座の開催 ・医師、糖尿病療養指導士、栄養士などによる糖尿病重症化予防に向けた指導を行った	・各医療機関で体重を計ったり、食事に対する啓発を行う事で食の重要性について関心を高める事が出来た。 ・小児生活習慣病予防健診で対象となった児童生徒へ医師会事務局と教育委員会が連携して食事調査（アンケート調査）を行い調査結果に基づき栄養士の協力を頂き食事指導を行った。 ・外来患者への糖尿病に対する指導が出来た。	・病医院受診者に対する運動習慣のある人となない人の発病の状況説明 ・病医院受診者に対する運動効果の説明 ・病医院受診者に対する運動をする際の注意点の説明 ・医療機関職員で組織するスポーツクラブへの活動支援 ・運動関連団体、指導者との連携 ・地域の集会所で開催される健康教室へ講師として健康運動指導士を派遣した。	・アルコールによる健康被害の発生予防に努めた。 ・病・医院受診者に対するアルコール障がい者の早期発見、早期介入に努めた。 ・病・医院受診者に対するアルコール依存症当事者・家族からの相談の充実を図った。 ・病・医院受診者に対する休肝日の指導、飲酒に関するリスク説明を行った。 ・アルコール依存に対する取り組みを各精神科施設を中心にに行った。	・病・医院受診者に対する受動喫煙の影響について説明を行った。 ・病・医院受診者に対する喫煙の弊害の説明を行った。 ・病・医院受診者に対する喫煙習慣と病気の原因説明を行った。 ・禁煙外来の受診勧奨に努めた。 ・医療機関の敷地内禁煙の促進を図った。 ・各医療機関において、禁煙外来の設置およびそれぞれ医師による喫煙リスクの説明の機会を増やした。 ・病院内の電子掲示板により禁煙周知等を実践している。	・市や関係機関との連携による市民向け出前講座を行った。	
日向市・東臼杵郡歯科医師会							・成人、高齢者に関しては、歯周病予防、治療として、30歳から受診できる歯周疾患等検診を推進した。 ・子どもに関しては、従来通りフッ素塗布、学校健診等による虫歯の早期発見に努めた
日向市区長公民館長連合会	・市の各種集団検診の申込みチラシの配布を行った		・10月10日自治公民館対抗グランドゴルフ大会を開催し50区が参加した。 ・百歳体操を多くの地区で実施した。				
日向保健所	・日向入郷地域・職域連携推進協議会開催 ・日向入郷地域糖尿病対策推進協議会及び糖尿病対策研修会（R7.2月開催予定） ・各種週間・月間における普及・啓発	・食品スーパー等と連携した「適塩普及啓発事業の実施」 ・ベジ活キャンペーンの実施（R7.1月～2月実施中） ・FMひゅうがを活用したベジ活・適塩の啓発	・ポスター配布	・個別相談対応	・FMひゅうがを活用した受動喫煙防止の啓発	・ひきこもり・こころの健康相談実施（月1回） ・日向入郷地域自殺対策協議会の開催 ・自殺予防啓発活動（プース設置FMひゅうが活用） ・研修会の実施（子どもの自殺予防・自殺未遂者支援）	・日向保健所地域歯科保健推進協議会の開催 ・日向保健所歯科保健推進研修会の開催
日向市・東臼杵郡薬剤師会	・健康まつりが開催されなかった	・薬草観察会 昨年5月に実施 ・薬草の料理に触れてもらうことで食への興味や効能効果の紹介など行うことができた	・投票時のアドバイスに運動を盛り込んでお話しした。	・アルコール減量の提案を行った	・有効なチラシを活用した ・学校薬剤師活動（薬物乱用教室の実施）	・カモミールティーの販売は昨年同様継続された	・健康まつりが開催されなかった
日向市食生活改善推進協議会	・定例会の全般で高血圧に関する生活習慣病を受講した。 ・食品に含まれる塩分量をグラフ化し展示を行った。 ・厚生労働大臣賞を受賞した。 ・新会員が増えた。	・各地域の講習会として（いきいきサロン、高齢者学級、農業小学校など）に出向き、講話や調理実習を行った。	・3班合同研修でラジオ体操を実施し、運動の重要性について学び身近な人に伝えた。	・飲酒が生活習慣病に関連する事を受講した	・喫煙が生活習慣病に関連する事を受講した	・調理実習を通して地域において声かけ・気づきに心がけた	・口腔検診を促した。
日向市社会福祉協議会		・食生活につながる「買い物」について、免許証返納等で移動手段の確保が難しい高齢者を対象とした『日向市相乗りお買い物ツアー』を毎月2回実施している。また、簡易な家事支援サービスを提供する有償ボランティア団体『てつだっちゃる会』でも、買い物支援を行っている。 ・高齢者の孤食による低栄養の防止を目的として、百歳体操後に参加者全員で昼食を食べる『ごはん倶楽部』の推進、支援を行っている。(令和6年度は2か所の会場で毎月1回実施) ・ふれあいいきいきサロンにおいて、栄養士による栄養講和を実施した。(令和6年度は3回実施)また、食生活改善推進協議会による適塩や低栄養予防等についての学習会を実施した。(各サロンで随時実施している)	・『いきいき百歳体操フォローアップ研修』を実施した(令和6年12月20日実施) ・各団体の活動の様子を紹介するフリーペーパー『ぼちぼち』の発行等により、百歳体操参加者の拡大に努めている。百歳体操は現在日向市内90会場で実施している。(各会場で毎週1回実施) ・『百歳体操+1(プラスワン)活動』として、スクエアステップやリバイバルダンス等の軽体操も加え、楽しく運動を継続できるための支援を行っている。(各会場で随時実施している)			◇世代や属性を超えて、誰もが安心して参加できる「居場所づくり」を推進している。 ・日向市内で4つのコミュニティカフェを実施している。(毎月1回)認知症に特化した『オレンジカフェざいこうじ』は、認知症当事者、介護者、住民サポーターや専門職などで構成されるチームオレンジの拠点としての役割を担っている。 ・外出の機会が少ない方の孤独感や不安な気持ちの軽減を目的として、『傾聴ボランティア』による訪問活動を実施している。 ・在宅介護の会『思いやりの会』では、会員同士の相談や悩みの共有、交流を通して、介護負担の軽減に努めている。(毎月1回) ・自立に向けた支援うい必要とする方を対象に、生活習慣の構築や人間関係の形成を図ることを目的とした『居場所サロン』を実施し、支援を行っている。（毎月2回） ・生活保護世帯や生活困窮状態にある世帯の児童に対し、学習支援コーディネーターを配置し学習支援を実施している。支援を通して、児童生徒の学習意欲の向上を図る関係機関の連携の強化を図っている。(毎週土・日)	
日向商工会議所	・会員事業者向け健康診断を実施し、18社76名が受診した。	・特になし	・継続しやすい軽運動の紹介	・適度な飲酒量の紹介	・特になし	・有休取得を推奨	・歯科検診の受診を推奨
日向市養護教諭部会	・4月から6にかけて全小中学校に実施した。	・4月から6にかけて全小中学校に実施した。	・熱中症予防対策を各学校で実施した。	・各学校に応じた取組を行った	・各学校に応じた取組を行った	・各学校に応じた取組を行った	・検診を実施し、要受診者に治療勧告を行った。（長期休業前） ・各学校で保健教育を行った。
日向市保育協議会	・折をみて、規則正しい生活習慣の大切さを知らせている。	・毎月の給食日よりや保育参観等でレシピ配布を行っている。 ・健診受診の徹底の他、園実施の身体計測状況を表にして把握	・各園での紹介の他、広報紙を利用して情報提供を行っている。		・施設内喫煙の徹底を行っている。	・絵本の貸出を行い親子ふれあいの時間に利用してもらう。 ・日向市保育協議会主任保育士会にてゲートキーパー養成講座を受講予定(令和7年度)	・年中、年長児のフッ素塗布を実施している。 ・保護者による仕上げ磨き、むし歯治療の推奨
宮崎県栄養士会日向事業部	・介護予防教室、高齢者学級の中でたんばく質やエネルギー等について1日の摂取量などを講話した。 ・特定・長寿健診については、野菜の切り方、調理方法など実習を取り入れた。	・野菜について、高齢者が切ることが困難な人にカット野菜や冷凍野菜の利用を勧めた。 ・調味料について計量スプーンを使用説明し、各自の必要量を覚えてもらった。（加工食品の塩分等）					・野菜料理については、十分に噛むことができるように歯科検診を勧めた。
日向市高齢者クラブ連合会			・グランドゴルフを行った ・地区別グランドゴルフ大会を行った。				
日向市スポーツ推進員協議会			・色々な研修に参加し、知識・質の向上を行った。 ・理解が難しい場合は、わかりやすく何度も繰り返し説明を行った。				
健康増進課	・事業所に対して訪問(9か所)や文書(31か所)で日向市の健康課題や健診等の情報提供を行った。 ・1年を通して広報ひゅうがや市のホームページ、アプリ、ラインを活用し、特定健診やがん検診の周知啓発を実施した。 ・特定・長寿健診とがん検診を同日受診できる環境づくりを行った。 ・託児付き検診（マザーズタイム）や、子宮がん乳がん検診の同時実施の日程を昨年度より増やし、受診者の受けやすい環境づくりに努めた。 【参考】 特定集団健診と乳がん検診の同日実施（R5：1日間、R6：2日間） マザーズタイム（R5：2日間、R6：3日間） 子宮がん乳がん検診同時実施（R5:6日間、R6：12日間）	・イベントや健康に関する月間時に適塩や野菜摂取についてパネル展示を行った。 ・健診(検診)案内時に減塩方法や野菜摂取方法に関するチラシを同封し啓発を行った。	・イベントや健康に関する月間の際に運動に関するパネル展示を行った。 ・ホームページで運動効果について掲載した。	・広報ひゅうがの健康一番で、飲酒の適量について掲載し、周知啓発を行った。	・たばこが及ぼす影響について広報やパネル展示等で周知を行った。 ・肺がんCT検診受診者や妊娠届時に喫煙の影響に関するリーフレットを配布した。	・9月の自殺予防週間やオール日向祭、東郷診療所オープニングセレモニーにてパネル展示を行い、また広報ひゅうがにも掲載しこころの健康について周知啓発を行った。 ・関係機関、市役所職員向けにゲートキーパー養成研修を実施した。市民に向けても実施予定。 ・専門職向けに自殺対策研修を実施予定。 ・小学5、6年生、中学1～3年生を対象に、いのちを守るこころの健康標語を募集し、いのちの大切さやこころの健康づくりについて考える機会を提供し、こころの健康に関する普及啓発を実施した。	・パネル展示やがん検診受診者へのリーフレット配布等を行い、歯とお口の健康について周知・啓発を行った。 ・ホームページやSNSを活用したり、特定健診、がん検診受診者に歯周疾患等検診の周知啓発を実施した。

令和6年度取り組み状況、今後の課題について

今後の課題

団体名	生活習慣病	食事・栄養・体重	運動	飲酒	喫煙	休養・こころの健康	歯・口腔の健康
日向市・東臼杵郡 医師会	・特定健診の受診率向上 ・生活習慣病予防のための環境整備 ・小児生活習慣病予防健診の未受診者の解消を図る。 ・医師や看護師などの糖尿病療養指導士による糖尿病教育、栄養士による栄養指導を更に充実させる。 ・新型コロナ、インフルエンザなど感染症への正しい理解と感染防止策の周知啓発	・健康講座の実施にあたり市民が参加しやすい雰囲気と会場等について検討したい。 ・普及・啓発、情報提供活動の継続 ・対象となった全ての児童生徒が食事指導を受けられるように保護者への啓発活動を徹底したい。	・市民が運動を始めたくなる、継続できる環境づくりの推進 ・市民の運動習慣が定着しない理由、運動しない理由の整理 ・運動関連団体、指導者との連携 ・医療機関職員が率先して運動と接することができる職場環境の充実	・アルコール依存症患者の治療体制の整備 ・適正飲酒量の啓発・広報	・受動喫煙対策の推進 ・喫煙の健康被害の啓発・広報の徹底	・更なる連携の推進 ・各医療機関における市民向け出前講座の充実	
日向市・東臼杵郡 歯科医師会							・各歯科健診後の口腔内状態の説明や治療法について、説明後に治療勧告に努める
日向市区長 公民館長連合会	・受診率向上を図るためには、必要な人に適切な勧誘とメリット(エビデンス)を必要がある。		・グランドゴルフを楽しむ人の減少 ・百歳体操や健康体操の実施				
日向保健所	・小児の肥満や食塩摂取量の超過	・ポスター等の配布 ・ベジ活応援店登録数の伸び悩み ・減塩⇒適塩の理解	まずは、1日プラス1000歩		20歳未満の者の喫煙を「許すべきではない」と考える者の割合は低下しているため、20歳未満の者の喫煙防止についての積極的な取組	R5年宮崎県自殺者数222人 自殺死亡率21.5 ※全国ワースト2位 自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ取組	・R6.3月に第3期宮崎歯科保健推進計画が策定され「フッ化物洗口に取り組む小中学校を90%に増やす」県の目標明記。学校でのフッ化物洗口は、健康格差の縮小にもつながるため、管内市町村のフッ化物洗口の推進に取組む
日向市・東臼杵郡 薬剤師会	・店舗内での健康診断の推奨 ・市からの配布物、健診の案内配布による啓蒙活動	・今後も定期的に実施していきたい ・薬草ガイドブック編さん中で、市民への告知、定着するよう浸透を図りたい	・運動イベントへの参加し周知の徹底	・睡眠剤、抗うつ剤、精神系薬剤の内服中の方々へ特に配慮、飲酒の量や頻度など、具体的に聞き取りする	・引き続き、継続したい	・今年度も継続していく ・学校薬剤師活動の一環として、薬物乱用授業を行う	・骨粗鬆症治療薬内服の方々への口腔ケアの大事さの周知徹底
日向市食生活改善 推進協議会	・高齢による退会者が多くなり会員数も減少していることから、広報ひゅうがやFMひゅうがでの募集を行った。		・ウォーキング、体操、ストレッチを定着する必要がある。			・継続して取り組む	・「健口」体操も関連して実施すると良いと思う。
日向市社会 福祉協議会		・有償ボランティア団体の活動を継続するための財源の確保 ・次世代のボランティアの人材や地域活動の担い手の育成、確保	・次世代のボランティアの人材や地域活動の担い手の育成、確保 ・男性の地域活動への参加促進	・		・免許書を返納した高齢者や認知症当事者がコミュニティカフェへ参加するための移動手段の確保 ・コミュニティカフェを運営するためのサポーターの人材育成、確保 ・支援を必要とする世帯(引きこもり世帯)への周知 ・日向市内6つの生活圏域全てにおいて実施できるとよい	
日向 商工会議所	・会員事業所向け健康診断の周知	・特になし	・事務職であるため、運動不足になりがち。 ・運動に関しては、本人次第。	・業務の関係上、飲酒を伴う会合が多い。	・職員の喫煙率が下げ止まっている	・休日出勤にいくらか偏りが見られる。	・受診については本人次第になっている
日向市 養護教諭部会		・要医療児童生徒が栄養相談を受けない。	・熱中症対策をしながらの運動量確保が難しい	・内容や講師の選定が難しい。	・内容や講師の選定が難しい。	・家庭の連携に向けた工夫が必要	・要受診児童生徒が受診しない。
日向市 保育協議会	・仕事と子育てに追われ「早寝」も難しさがある ・メディア時間短縮への取組が課題	・保護者の興味関心をひくような情報提供の方法（マンネリ化しないよう）	・保護者の興味関心をひくような情報提供の方法（マンネリ化しないよう）	・保護者の興味関心をひくような情報提供の方法（マンネリ化しないよう）	・保護者の興味関心をひくような情報提供の方法（マンネリ化しないよう）	・受け入れる側の心身の健康	・むし歯治療率アップ
宮崎県栄養士会 日向事業部	・参加する人を増やす	・野菜については、若い人に取り組んでもらいたい。 ・塩分については、ようじきからの塩分摂りすぎに取り組むこと。					
日向市高齢者 クラブ連合会			・人数の減少				
日向市スポーツ 推進員協議会			・推進委員の高齢化、人員不足で年齢（子どもなど）に合わせた指導が難しくなっているため、人員増員（特に若手）を進めていきたい。				
健康増進課	・年齢や受診状況に合わせた内容や周知啓発方法の工夫が必要である。 ・受診者アンケートより、マザーズタイムや夕方検診について、約3割の人がいづれも知らないと回答しており、認知度が低い状況であったため、更なる周知・啓発が必要である。	・ホームページ、広報、ラジオなど年代別に合わせた周知 ・ライフステージに合わせた具体的な適塩、野菜摂取方法の周知	・ホームページ、広報、ラジオなど年代別に合わせた周知 ・運動の効果等に関する周知	・周知啓発の機会が少ないため、健診後の保健指導時や健康教育、広報等で周知啓発に努めていく必要がある。	・ホームページや広報、健康教育などを通して、周知啓発を行う必要がある。	・ゲートキーパー養成研修を1人でも多くの方に受講していただくために、企業や子育て支援機関、学校関係機関などに説明を行い、受講者に応じた研修内容や場所、時間を検討していく必要がある。	・検診受診者数が、令和5年度とあまり変わらず、受診率が非常に低い状況。